



〈第14号〉
平成27年6月号

萩市復興だより

～ 復興は みんなの笑顔が エネルギー ～

発行・編集
萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214

一昨年の豪雨災害から1年10ヶ月が経過しました。アジサイが大輪の花を咲かせる頃となりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。復旧・復興に向け進む、萩市東部の今を紹介します。



復興祈念 ご縁ウォーク



～ 復興に向けて 一歩 一歩 ～

平成27年5月24日(日)、5月晴れのさわやかな青空の元、「復興祈念 ご縁ウォーク」が開催されました。市内外から総勢149名の参加者がありました。

午前9時30分から出発式が行われ、弥富小学校から育英小学校までの間に3つのコースが設けられ、参加者それぞれ体力に合ったコースを歩きました。

復興の状況を確認しながら歩くご縁ウォークでは、普段は車で通りすぎてしまう被災地や復旧工事の様子をゆっくり見ることができました。また、コースのゴールのひとつでもある中畑区の住民の方からは「普段はあまり聞かない子供たちの声が響いてうれしかった。」という声や、田万川・須佐からご協力いただいたボランティアさんからは、「いろんな人に声をかけて楽しかった。」など、参加者以外の方も楽しい一日となりました。



パネル展示「災害ゴミはどこへ行った？」



須佐女性団体連絡協議会によるおもてなし
おいしい豚汁とおむすびありがとうございました。



激励に訪れた「萩にゃん。」と「文にゃん」
何処にいても大人気!!

災害を乗り越え 千石台だいこん出発式 だいこん

5月27日(水)平成27年産 千石台だいこんの出発式が開催されました。千石台は、7.28豪雨災害により、畑の表土が流失する被害に遭いましたが、災害を乗り越え今年も良質な大根が生産されています。むつみ地域の千石台は、山口県内最大の大根産地です。県内を中心に広島・北九州・福岡へ出荷され、肉質がきめ細かく甘みがあり、市場でも高い評価を受けています。おろし大根から煮物・おでんまで幅広く利用できます。ぜひ、ご賞味ください。

◆栽培面積 80ha

◆出荷量 4000t

◆出荷期間

○春夏だいこん 5月下旬～7月下旬

○秋冬だいこん 9月上旬～12月上旬

◎千石台出荷組合

生産者12名全員がエコファーマの認定者です。
安心・安全なおいしい大根づくりに励んでいます。
将来を担う4名の担い手も誕生しました。



JAあぶらんど萩の
ぶちうまい農産物

甘みのある「青首だいこん」

戒一・戒二 減災のすすめ

5月30日(土)田万川地域 江崎戒一と戒二の自治会が合同で「減災のすすめ」に取り組みました。当自治会は、7.28豪雨災害で直接的な被害はありませんでしたが、海に面しており、急傾斜の警戒区域を抱えています。平成21年には副振動による海面上昇のため、浸水被害を受けました。

この度の「減災のすすめ」では、地域の見守体制の確認やマップづくりに加え、防災安全課による「防災講座」も開催され、津波や避難方法などの解説も行われました。

○平成21年7月15日に発生した副振動による海面上昇では、須佐・田万川地域をあわせ、51戸の浸水被害がありました。



防災安全課による「防災講座」

江崎ふれあいサロン 好評開設中

「江崎ふれあいサロン」をご存知ですか？

JAあぶらんど萩 旧江崎支店の空店舗を利用し、平成27年1月から地域住民の憩いの場として開設されています。

ぐるっとバスや列車の待合に、ちょっとしたおしゃべりの場にぜひご利用ください。

◆開設日：月～金曜日

◆開設時間：午前9時から午後3時まで



お気軽に
お立ち寄りください。

お詫びと訂正 復興だより〈第13号〉平成27年5月の1ページでご紹介した河澄翔一さんのお名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。(誤)河登 → (正)河澄〈かわずみ〉

災害から 身を守る 非常持出品を用意しましょう。

*** 事前の準備がいざという時に役立ちます ***

避難時の備えとして、生活用品などを非常持出袋にまとめて、すぐに持ち出せる場所に保管しておくことで安心です。用意しておく飲料水や非常食は最低3日分が目安です。

下記の内容を参考に、家族の構成を考えながら準備しましょう。

非常食

調理しなくても食べられる保存期間の長い食品
レトルト食品や缶詰
乳幼児がいる場合は、粉ミルクや離乳食

医薬品

ばんそうこう、傷薬、解熱剤などの常備薬、
健康保険証・お薬手帳のコピー
* 普段、服用している薬がわかるもの

飲料水

ミネラルウォーターやペットボトル入りの飲料
製品

生活用品

上着・下着などの衣類、タオル、ティッシュ、
カップ、軍手、紙おむつなど

懐中電灯・携帯ラジオ

予備の電池
懐中電灯は家族の人数にプラス1本は必要

その他

床に敷くシート、ライター、筆記用具、
ポリ袋など

- ◆非常持出袋は、リュックサックのような背負う形のものにしましょう。避難時は、両手が自由になることが重要です。
- ◆重さの目安は、男性15kg、女性10kgです。それを超えると避難に支障をきたす恐れがあります。不要なものは入れないようにしましょう。



3か月に一度は点検を

雨季に備えて 防災パトロールが行われました。

田万川地域



「須瀧の浜」の浜切り

5月26日(火)、萩市消防団田万川方面団による田万川地域内の防災パトロールが行われました。

消防団幹部が、雨季に入る前に田万川河口「須瀧の浜」の切開状況や急傾斜警戒区域地など現地をまわり、確認するものです。

大雨時に警戒が必要な場所、豪雨時の関係住民への避難啓発などの再確認を行い、雨季に備えます。

災害復旧工事の着手状況等について

市の管理する河川や道路及び農地・農業用施設など国・県の補助事業となる災害復旧工事については概ね発注を終え、工事の完成に向け事業を進めているところです。着手状況などは下記のとおりです。

■土木・農地等災害復旧工事（補助事業）

区 分	全体件数 A	発注件数		着手件数(完了含む)	
		B	B/A	C	C/A
公共土木施設災害復旧	270件	269件	99.6%	253件	93.7%
農地・農業用施設災害復旧	474件	474件	100.0%	391件	82.5%
林業施設災害復旧	18件	18件	100.0%	18件	100.0%

※件数は災害査定の箇所数

(H27.5月末現在)



田万川地域（千疋川）



須佐地域（弥富・農地）

～ 復旧現場の風景 ～

平成25年7月28日、萩市東部に突如押し寄せた集中豪雨。あれから早くも1年10ヶ月が経過しました。被災直後の記録写真などから復旧が進んだ現在の状況などを毎月写真でご紹介します。

■■むつみ地域（高佐下 市道 笠ヶ迫線）■■



平成25年7月



平成27年6月

発行：萩市災害復興局
TEL 08387-6-2214 FAX 08387-6-2218

生活再建支援事業部 TEL 08387-6-2213
都市基盤復興事業部 TEL 08387-6-2215
産業再生事業部 TEL 08387-6-2217

